



北部教育研修センター センターだより 第2号

(北部教育研修センター実証実験事業)

平成31年3月1日(金)

沖縄県名護市字為又 1220-146
北部教育研修センター

発行責任者

センター長 高安美智子

北部教育研修センターの事業開始から一月が経ちました。本事業では、北部12市町村が一丸となって北部地域の児童生徒の「確かな学力」の向上を目的として、教職員の研修及び教員養成講座を実施しています。

本研修センターでは、この一月間で、県内外の優れた講師を招聘し、教職員の12回の諸研修事業を実施して参りました。今後は、研修で学んだことを、教員がどのように実践に移していくか一緒に考え「授業づくりの支援」をテーマに事業を推進していきたいと思えます。

一人ひとりの教員の学びが、子どもたちの心を揺さぶり、どのように子どもたちの学びが変容していくか楽しみです。子どもたちの変容の先には「確かな学力」の向上が見えてくると思えます。

センターの事業開始が急遽1月24日と決まったため、本事業を展開するにあたり、学年度末の多忙な時期に研修日が集中したことや、十分な日程調整や周知ができなかったことを深くお詫び申し上げます。

◆ 平成31年度新規採用(内定)教員研修 【教師の役割と新学期の準備:ワークショップ】

講師: 高安美智子(北部教育研修センター長)
大城 覚(北部教育研修センター教員)
松田しずか(国頭教育事務所指導主事)

対象: 平成31年度新規採用教員内定者
(北部地区小・中学校配置予定者)

内容: 学級開き

週案及び学習指導案の書き方

期 日: 平成31年3月11日(月)

時 間: 14時00分~16時45分

場 所: 北部生涯学習推進センター

※ 研修申込みは、FAXか電話、またはメールにて各自でお願いいたします。

《平成30年度今後の研修予定》

◆ 臨任教職員研修(恩納村近郊) 【教師の役割と教師のやりがい】

講師: 大城覚、新城敦

(北部教育研修センター教員)

期 日: 3月6日(水)

時 間: 16時00分~17時30分

対 象: 恩納村、金武町、その他勤務臨任教職員

場 所: 恩納村教育委員会

◆ 算数・数学の勉強会

【授業づくりワークショップ】

講師: 大城覚、高安美智子

(北部教育研修センター教職員)

期 日: 3月7日(木)

時 間: 19時00分~21時00分

場 所: 北部教育研修センター

◆ スーパーティーチャー招聘授業

【公開授業 小学校国語】

講師: 教育実践家 菊池省三先生

(教員同士の学びの場「菊池道場」の主宰者)

期 日: 3月8日(金)

時 間: 14時45分~15時35分

ワークショップ: 15時45分~16時45分

場 所: 今帰仁村立天底小学校

◆◆◆ 研修申込みのご案内 ◆◆◆

申込締切: 3月5日(火)

研修申込: TE L0980-51-1251

FAX 0980-51-1559

E-mail sa.oshiro@meio-u.ac.jp 大城

n.sueyoshi@meio-u.ac.jp 末吉

北部教育研修センター事業報告

◆◆◆ 教育講演会 ◆◆◆

研修名	スーパーティーチャー招聘教育講演会
日時	平成31年2月15日(金)
場所	名桜大学 多目的ホール
参加者	138名

演題：「習得における『主体的・対話的で深い学び』
～教授と活動のバランスに配慮した授業づくり～」

講師：市川伸一氏 東京大学大学院教育学研究科教授

1. 研修の内容

新学習指導要領では「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、教師のより一層の授業づくりの創意工夫が求められています。児童生徒の主体的な学びを促すために、教師はどのように関わるのが望ましいのか、深い学びの教材はどのように工夫したら良いのか等、授業づくりの悩みは尽きません。

そこで今回は、講師に市川伸一東京大学教授を招聘し「教えて考えさせる授業」の視点から「習得における『主体的・対話的で深い学び』～教授と活動のバランスに配慮した授業づくり～」をテーマに講演をしていただきました。日々奮闘しながら教壇に立つ先生方の授業力向上に向けて多くの示唆を与えてくれる内容でした。厳しい日程の中、約140人の先生方が参加しました。

◆主な項目は次のような内容でした。

- 中教審とアクティブラーニング
- アクティブラーニングの実例
- 「教えて考えさせる授業」の提案、導入校の変化
- 「授業の型」よりも、趣旨は「理解」にあること
- 授業づくりのポイント、授業で伝えたい学び方等



2. 参加者の感想から(抜粋)

- ① 既存の学習指導の中で、子ども達にしっかり「教えて考えさせる授業の展開」は目からうろこでした。
- ② 本講演を通して、深い学びとは、深い理解・知識の関連付け、一般化・活用できる知識にしていくことなのだと気づかされました。
- ③ 教えて考えさせる授業が子どもたちにどう影響があるのか知りました。OUTPUTを大切にすることで、深い理解につながることで、活用問題等に対応できるんだと感じました。実際のビデオを見るとイメージもできてとても良かったです。
- ④ 現状で教科書の内容を教えると基本内容は身につくか。思考を深めることは難しく、全国学力調査などでB問題記述は授業で取り組むことは難しい。

3. 主催者の感想

アクティブラーニングの影響もあり、最近の傾向として教師が教えずに、子どもたちに考えさせる授業が多くなっています。子どもの活動は活発になっても一向に学力は伸びないというのが教師の悩みでもあります。参加者から「教えることと、考えさせることのバランスをとることが大事であることを知って安心しました。」や「教えることにためらいを感じていたが、自信をもって教えることができる。」という感想から、本地区の教師にとって有意義な講演会であったと思います。

「後半のペア協議、その共有の時間があって、とても良かったと思います。」というコメントもあり、講演の内容をお互い確認し共有するという場を設けたことは聞きっぱなしだけの講演よりは効果があったと考えています。

時間の都合で講師への質疑の時間を設けられなかったことは残念でしたが、次回はさらに期待に添える講演会を企画していきたいと思っています。

◆◆◆ 公開授業 中学数学 ◆◆◆

研修名	スーパーティーチャー招聘授業
日時	平成31年2月18日(月)
場所	名護市立東江中学校
参加者	31名

授業者(講師): 鈴木明裕氏 岐阜聖徳学園大学教授

1. 研修の内容

東江中学校において、中学校数学の公開授業を実施しました。31名の参加があり、授業だけでなく、その後の授業研究会も盛り上がりました。

研修の内容は以下のとおりでした。

(1) 授業

- ① 学校・学級：名護市立東江中学校 2年2組
- ② 単元：図形の性質と証明

実施校の東江中学校から中学生が苦手とする図形の証明をやって欲しいという要望があり、この単元に決めました。



授業の内容

「 $\angle A = 90^\circ$ の直角二等辺三角形 ABC と点 A を通る直線 l があります。点 B, C から直線 l に、それぞれ垂線 BD, CE を引いたとき、次の問について考えましょう。

- 1) $\triangle ABD \equiv \triangle CAE$ であることを証明しましょう。
- 2) 3つの線分 BD, CE, DE の長さの間には、どのような関係があるでしょうか。」

発展問題で、ややレベルの高い内容でしたが、鈴木先生の発問・リードのうまさで生徒も真剣に取り組んでいました。生徒の感想では「難しかったけど楽しかった。図形に対して興味が出てきた。」等がありました。

2. 授業参観者の感想から(抜粋)

- ① 生徒が一先けん命考えている姿がよかった。
- ② マグネットを用いて図に示した板書がわかりやすく実践に活かそうだと思いました。書かれている図を使うのではなく、図から情報を読み取れるように図を描かせる練習も必要だと感じました。
- ③ 4月以降も講演会やスーパーティーチャーによる授業をお願いしたいです。
- ④ このような研修を受けたいと思うとき、県立総合教育センターや県外に足をのぼすことが多かったので、同地区であると移動に時間を取られないので助かります。

3. 研修企画者の感想

- ① 当初の申し込みは15名であったが、実際は31名の参加がありました。
- ② 「同じ長の辺に同じ色のマグネットを使う、初めから図を与えるのではなく、生徒に描かせる。」等がいくつかのアイデアを駆使していたのが参考になりました。また、授業反省会でも次のような意見が出て有意義でした。

- 直線“ l ”のようなアルファベットの筆記体を教えるべきである。知らない、書けない生徒が多い。
- 証明の意義や定義、仮定、推論、結論などは数学を理解する上で大事な主張のプロセスである。
- 数学教師は数学の有用性をもっと伝えるべきである。
- 授業の中で「問」、要するに見守り、待つという姿勢も大事である。
- 教科書よりも指導要領が基本である。
- 中学校でも指導法を工夫し、数学が嫌いだという生徒に、より興味を持たせる教師の日々の取組や研修が大事である。



臨時的任用教職員研修

研修名	臨時的任用教職員研修
日 時	平成31年2月6日(水)
場 所	大宜味村立大宜味中学校
参加者	8名(国頭村・東村・大宜味村対象)

1. 研修の内容

北部教育研修センター初めての研修会でした。8名の参加で研修会を実施することができました。研修の内容は以下のとおりでした。

まず、高安センター長より本研修の趣旨説明があり、二人の講師のプレゼンが行われました。

1) 教師のやりがい：大城コーディネーター

自身の経験も踏まえながら、教師のやりがいについて「①私の教師経験、②教師の条件、③担任としての苦悩、④教育のプラスの連鎖、⑤子どもを愛するということ等」の内容でした。

2) 最新の教育事情：新城コーディネーター

教育の最新事情という視点から①学習指導要領改訂の方向性、②未来の子供たちを育成する為に、③21世紀の教育等の説明がありました。

2. 研修者の感想から（抜粋）

1) 「実際に教師時代の苦悩や経験を聞く事ができた。また、時代が変わっても教育のやり方が変わっても教師の情熱、子供たちを1番にという考えはどの時代も同じ事だと思いました。明日からの意欲にもなりました。

2) 教師自身が明るい未来を信じて、生徒と向き合う（接する）ことが大切ということ、変化の絶えない時代だからこそ、学び続けるということが大切ということを中心に留めて、明日からまた頑張っていこうと思いました。

3) 教師の仕事は子育てと一緒に愛情が足りないと子どもは育たないという高安先生のことばが印象に残った。



研修名	臨時的任用教職員研修
日 時	平成31年2月14日(木)
場 所	北部生涯学習推進センター
参加者	10名(名護市近郊対象)

1. 研修の内容

1) 教師のやりがいとは何か（高安センター長）

学級開き、学級経営：クラスのキーマンを育てる、学級会の締めくくり 文集・アンケート等、経験に基づく貴重な話でした。成功・失敗事例が沢山あり、研修参加者にとって参考になったと思います。

2) 教師のやりがい：大城コーディネーター

3) 最新の教育事情：新城コーディネーター



2. 研修者の感想から（抜粋）

①この研修で、教師のやりがい、楽しさについて、苦労もあるが、すごくやりがいがある仕事だということに改めて思った。

②この子達でよかった、先生でよかったとお互い思い合えるような信頼関係づくりをしていきたい。

③教師が愛情をかけてあげることで、困難な子を自分の味方につけることができるのはすごいと思った。これからも児童理解を深めていきたい。

④今後教員として必要なこと、学級経営をする時にやるべきこと、何を大切にしていけば良いか、実体験を聞くと、いろいろ試してみたいと思った。

⑤先の見えない社会を前に何をすべきかを明確にすることは難しいが、「心を育てる、人格を形成する」ことはどんな社会であろうとも必要不可欠と強く感じた。

編集後記

ご多忙の中、研修会へのご参加ありがとうございました。参加者の意見や感想から、私たちにとっても多くの学びがありました。今後も共に考え学び合える研修会を企画していきたいと思えます。